

機能性ディスペプシアと慢性膵炎との関連に関する研究のお知らせ

帝京大学医学部附属病院では以下の研究を行います。

本研究は、倫理委員会の審査を受け承認された後に、関連の研究倫理指針に従って実施されるものです。

研究期間： 2021年9月16日 ～ 2022年6月30日

〔研究課題〕 日本とシンガポールにおける膵酵素異常を伴う機能性ディスペプシア患者の疫学調査研究

〔研究目的〕 機能性ディスペプシアは胃の痛みや不快感などの上部消化管症状を生じる原因不明の疾患ですが、世界的に罹患者数が増えていることが知られています。最近の研究で、機能性ディスペプシア患者さんの中に、膵酵素が高くなる慢性膵炎が疑われる方が混在していることが報告されていますが、わが国における現状及び国際的な違いはわかりません。

〔研究意義〕 機能性ディスペプシアの患者さんの中の膵炎が疑われる方の割合や特徴を知ることによって、病態に応じた有効な治療が行える可能性が高くなります。

〔対象・研究方法〕 本研究は2017年4月～2020年3月の間に、機能性ディスペプシアに罹患した患者さんの中で、内視鏡で十二指腸の炎症状態が評価されている方について、医療記録から採血結果や背景因子、消化器症状、生活の質、精神状態などを調べ、膵酵素が高い人と高くない人でその特徴を比較します。

〔研究機関名〕 主研究施設：日本医科大学武蔵小杉病院消化器内科、他研究施設：帝京大学医学部附属病院内科学講座、横浜市立大学肝胆膵消化器病学講座、総合川崎臨港病院、国立シンガポール大学消化器内科、国立シンガポール大学 Yong Loo Lin 病院

〔個人情報の取り扱い〕 電子カルテ内の情報の抽出については、院内規定に従って情報システム部に依頼し、研究責任者(内科教授 山本貴嗣)が直接医療記録より行います。個人が特定され得る記録については匿名化し、エクセルファイルにて作成した対応表(症例ナンバーと実名を対応させたもの)と分けて、研究責任者の大学自室内の別の施錠可能な場所でそれぞれの電子媒体として保管いたします。研究終了後は帝京大学臨床研究センターにて10年間保管後、廃棄いたします。

対象となる患者様で、ご自身の検査結果などの研究への使用をご承諾いただけない場合や、研究についてより詳しい内容をお知りになりたい場合は、下記の問い合わせ先までご連絡下さい。

ご協力よろしくお願い申し上げます。

問 い 合 わ せ 先

研究責任者：氏名 山本貴嗣 職名 教授
研究分担者：氏名 大和 洸 職名 助教
所属： 帝京大学医学部内科学講座消化管研究室
住所： 東京都板橋区加賀 2 丁目 11-1 TEL:03-3964-1211(代表) [内線 16101]